

授業科目	映画で学ぶ欧米文化					実務家教員担当科目	-				
単位	2	履修	選択	開講年次	3	開講時期	後期				
担当教員	八尋 春海										
授業概要	映画を通して欧米社会が抱える問題点や特徴を分析しながら、同時に文化を学ぶ。										
授業形態	対面授業				授業方法	毎回、資料を配布し、その資料をもとに担当教員が解説を行い、それに関連する映画を視聴する。					
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	1 現代の欧米社会が抱える問題点を把握できる。 2 欧米文化の特徴を認識できる。										
理想的レベル	1 今後起こりうる欧米社会の問題点を予測できる。 2 欧米と日本の文化の違いを認識できる。										
評価方法・評価割合											
評価方法			評価割合（数値）				備考				
試験			45								
小テスト			40								
レポート											
発表（口頭、プレゼンテーション）											
レポート外の提出物			15								
その他											
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	-	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	T031810J
学習課題（予習・復習）										1回の目安時間（時間）	
復習：授業中に示したポイントを再確認する。										4	
授業計画											
第1回	オリエンテーション、欧米諸国の地域性を学ぶ。										
第2回	アメリカ人におけるアジア人、先住民について学ぶ。										
第3回	アメリカにおける黒人、ユダヤ人について学ぶ。										
第4回	アメリカにおける家族の自立、結婚について学ぶ。										
第5回	アメリカにおける離婚問題、幼児虐待問題について学ぶ。										
第6回	アメリカの食の事情、遺伝子組み換え食品について学ぶ。										
第7回	アメリカのスポーツとスポーツ産業について学ぶ。										
第8回	大統領の職務、危機管理、選挙、2大政党について学ぶ。 小テスト										
第9回	アメリカの犯罪、FBI、CIAについて学ぶ。										
第10回	アメリカの中心的な思想について学ぶ。										
第11回	アメリカの音楽の歴史と現状について学ぶ。										
第12回	アメリカの司法制度、弁護士の特徴について学ぶ。										

第13回	アメリカの学校制度の特徴について学ぶ。
第14回	アメリカの企業の特徴について学ぶ。
第15回	まとめ
テキスト	プリントを配布する。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	図書館で池上彰氏が書いたアメリカや国際問題関連の本を読む。
課題に対するフィードバックの方法	授業中の解説をその場でいかに理解できるかが重要であり、毎回、授業終了時に重要項目に関する問いを出して、学生にコメントを提出させる。提出されたコメントに対しては、次回の授業の際に理想的なポイントを提示する。また、質問あれば回答し、理解が十分にできていないと思われる内容があれば追加で解説をする。
学生へのメッセージ・コメント	「欧米観光文化地理」を受講し、欧米諸国の中でのアメリカの地位を多面的に見るようにする。